

据置台工事説明書

型式名 S D - 5 5 0 5 - S 0

表示について（表示の意味は次のようになっています。）

注意 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

注意 工事される方へのお願い

この据置台は、専用機種に使用してください。
機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

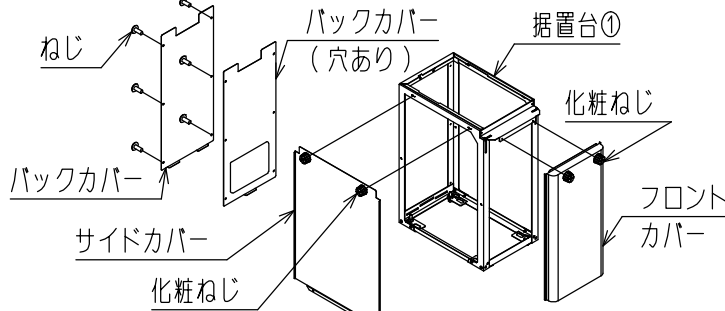
品番	品名	個数
①	据置台	1
②	ねじ(トラスM4×10)	6
③	壁固定金具	1
④	固定金具上	1
⑤	固定板下	1
⑥	工事説明書	1
⑦	機器固定座金(小)	2
⑧	壁固定座金(大)	2
⑨	プラグ(SX 6×30)	2
⑩	丸木ねじφ4.8×38	2
⑪	絶縁ワッシャー	2
⑫	絶縁プレート	2

2 設置前の注意

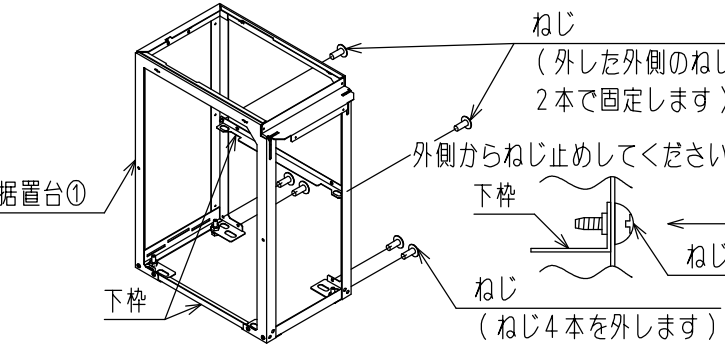
- (1) 据置台を設置してから、機器本体を取り付けてください。
- (2) 据置台を置く床面は平らにし、水はけをよくしてください。
また、脚はセメントなどで埋めこまないでください。
- (3) 据置台は耐火耐熱材の上に水平に据え付けてください。約3°迄の傾斜の場合はアジャストボルト(各脚共10mm)で調整できます。

3 取付方法

- (1) フロントカバー、サイドカバーの化粧ねじ(各2本)を緩め、据置台①からフロントカバー、サイドカバーを取り外してください。
(必要場合はバックカバー(ねじ6本)も取り外してください。バックカバーとバックカバー(穴あり)が2枚重ねて組付されています。)

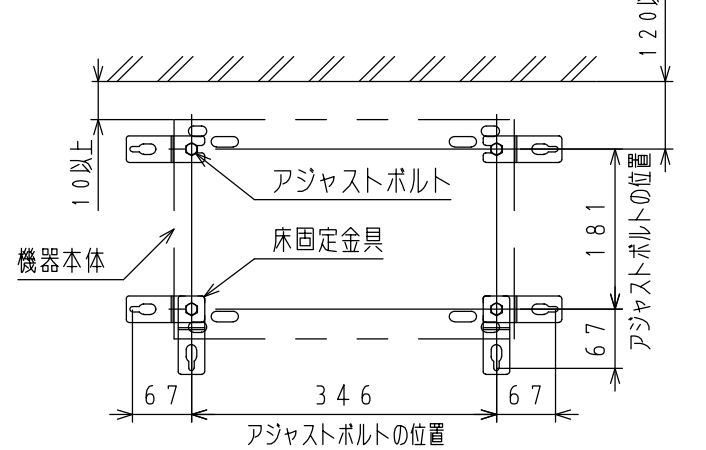


※1. 左右の下枠が配管に干渉する場合は、上に移動することができます。
ねじ4本を外して下枠を上に移し、外側のねじ2本で固定してください。(外した内側のねじ2本は使用しません。)

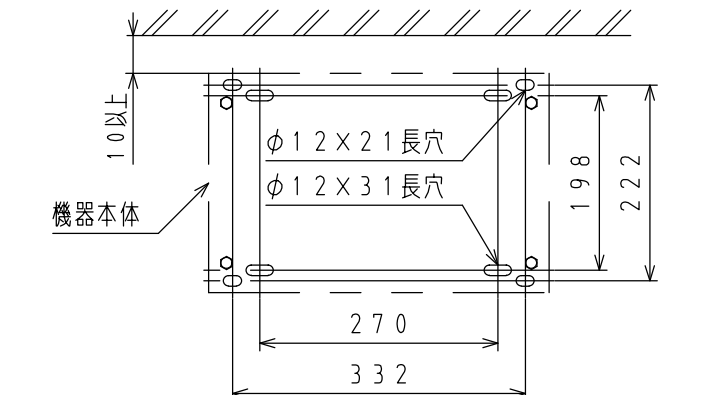


(2) 据置台の設置位置を決めてください。 1 X W 0 3 0 - 2

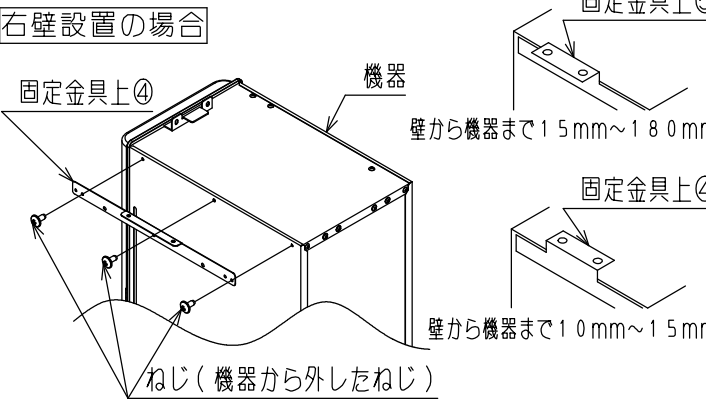
- ① アジャストボルトの位置で設置する場合(単位:mm)
約3°迄の傾斜がある場合は、アジャストボルト(4本)で調整してから設置してください。
アジャストボルトの位置で取り付けられない場合は、床固定金具(別売部品、部品コード:WP009)を挟み込み、アンカーボルト(M10)等で固定してください。



- ② 長穴の位置で設置する場合(単位:mm)
据置台に取り付いているアジャストボルト(4本)を取り外し、φ12×21長穴、もしくはφ12×31長穴をコンクリートベースのボルトとナットで固定して、設置してください。

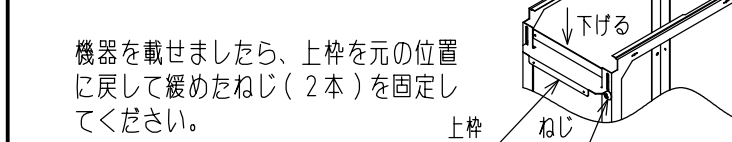


- (3) 機器上部のねじ3本を外し、固定金具上④(ねじ3本)を取り付けてください。

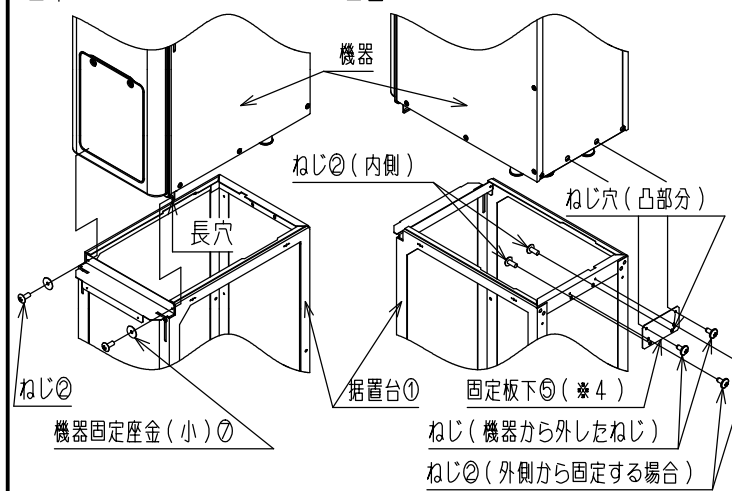


- ※2. 左壁設置の場合は、反対面に固定金具上④(ねじ3本)を取り付けてください。
固定金具上④の向きにより壁から機器までの取付範囲が異なりますので、取付向きに注意してください。

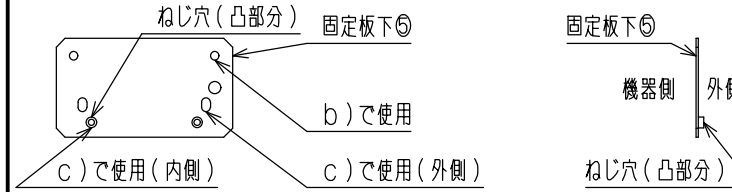
- ※3. 据置台の上枠のトラスM4×10(ねじ2本)を緩めて、上枠を下げることにより手が入る隙間ができるため、機器を載せやすくなります。
このとき、配管が据置台に載り上げないように注意しながら作業してください。
また、機器を載せる際、後面側に手が入る隙間ができるように一度手前に置いてから(約70mm)、奥へ押しスライドさせることも可能です。



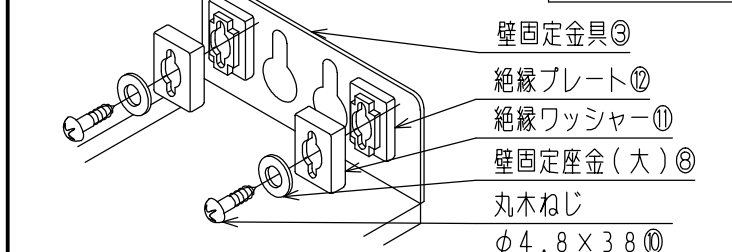
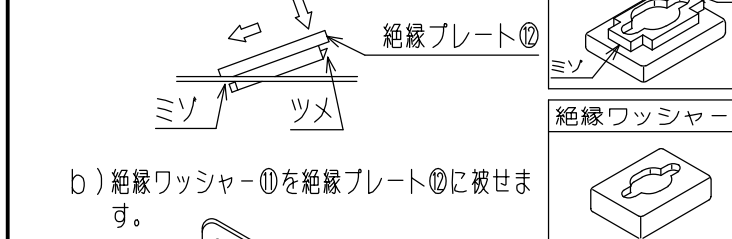
- (4) a) 機器前面下部左右の長穴を利用して、トラスM4×10②(ねじ2本)と機器固定座金(小)⑦で機器と据置台を固定してください。(図イ)
b) 機器後面下部(ねじ2本)を外し、固定板下⑤(ねじ2本)を取り付けてください。(図ロ)
c) トラスM4×10②(ねじ2本)で、機器の内側から機器(固定板下⑤)と据置台を固定してください。(外側からも止められます)(図ロ)



- ※4. 上記b). c) でねじ止めする穴は下図を参照してください。
ねじ穴(凸部分)を外側にし、固定板下⑤を取り付けてください。

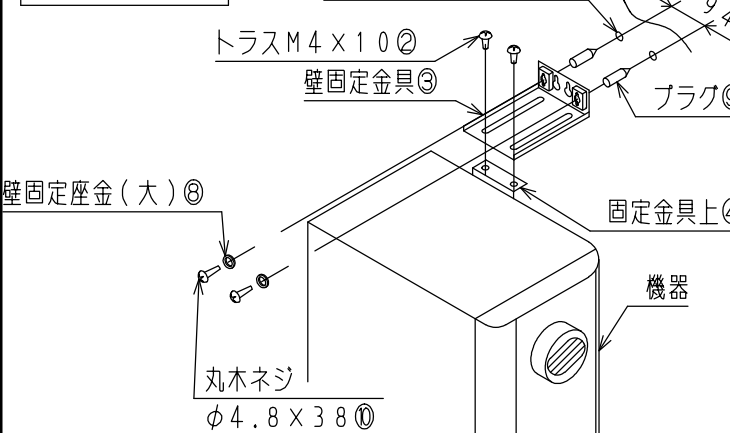


- (5) 絶縁が必要な場合、絶縁部品を次の要領で取り付けてください。
a) 壁固定金具③の後面より絶縁プレート⑫をはめ込みます。
1. ミソに壁固定金具をはめ込むように入れます。
2. ツメが壁固定金具にはまり込むまで押さえます。



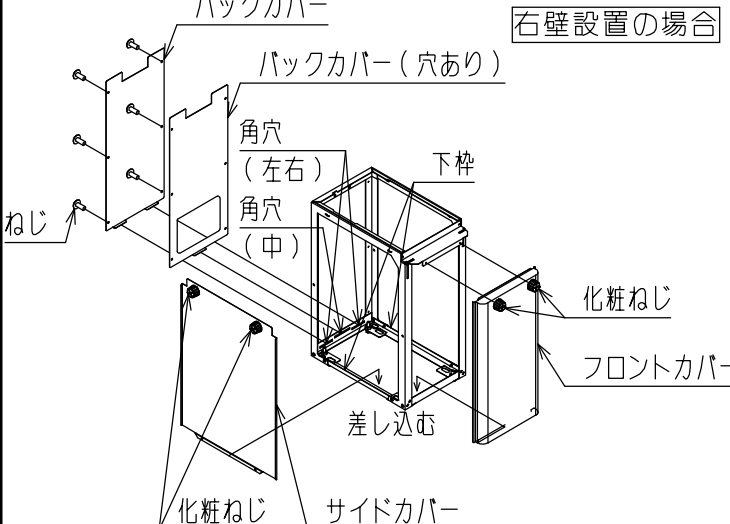
- (6) 壁固定金具③をトラスM4×10②(ねじ2本)で固定金具上④に仮止めしてください。
その状態で壁との距離を調整し、丸木ねじφ4.8×38⑩の固定位置を決めてください。
丸木ねじφ4.8×38⑩の固定位置が決まりましたら、壁固定金具③をトラスM4×10②(ねじ2本)で固定金具上④に本止めしてください。
次に壁固定座金(大)⑧および丸木ねじφ4.8×38⑩で壁と固定してください。
(モルタル、コンクリート壁等の場合は先にプラグ⑨を壁に打ち込んでください。)

壁固定座金(大)⑧の取付範囲は10~180mmです。
右壁設置の場合 下穴φ6×40mm以上



- ※5. 左壁設置の場合は、反対面に壁固定金具③を取り付けてください。

- (7) 据置台①にフロントカバー、サイドカバーを取り付けてください。
(1)でバックカバー、バックカバー(穴あり)を外した場合は、再度取り付けてください。
フロントカバーとサイドカバー下部の段差を、据置台①の枠にそれぞれ差し込み、各カバー上部を化粧ねじ(各2本)で止めてください。
バックカバー(穴あり)下部の突起を据置台①の角穴(中)に入れ込み、さらにバックカバー下部の突起を据置台①の角穴(左右)に入れ込んで、2枚重ねて最初に外したねじ(6本)で止めてください。



- ※6. 左壁設置の場合は、サイドカバーのみ右壁設置のときと反対面に取り付けてください。

注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーとサイドカバーをしっかりと閉め、がたつきの無いことを確認してください。下部差込箇所が外れていないことを確認しうえで、化粧ねじをしっかりと締めてください。

製造元 パーパス株式会社
静岡県富士市西柏原新田201 〒417-8505